

常用洪水吐き見学会を開催しました！（平成28年11月7日）

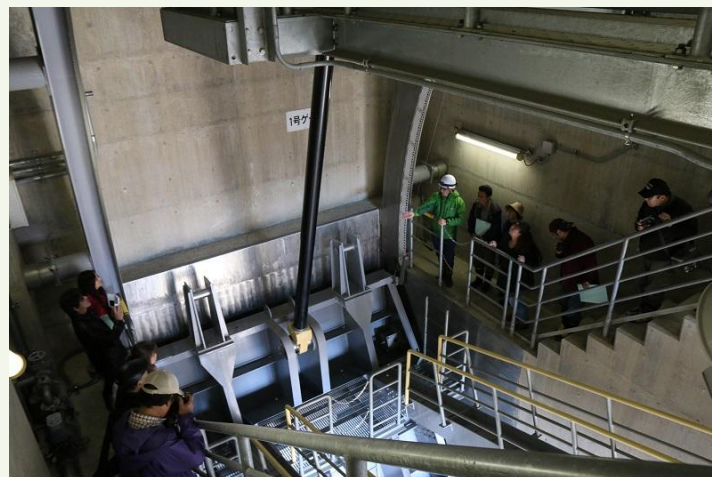
独立行政法人水資源機構 徳山ダム管理所におきましては、夏季の不特定補給のため、貯水位が低下し、普段、見られない洪水吐きゲートが貯水池内前庭部まで立ち入れ、全景をみることができるところから、11月7日（月）常用洪水吐きの機械設備に特化した見学会を開催しました。

開催決定が3週間前の急な決定にもかかわらず、全国各地から25名（男性14名、女性 11名）の参加がありました。

説明は機械職職員が担当し、扉体はステンレスクラッド鋼、川裏側の水と接しない箇所は普通鋼＋塗装仕様、修理用ゲート使用時の充水の目的と方法、油圧シリンダーロッドがセラミック被覆仕上げなど徳山ダムゲートの特長を随所に説明し、参加していただいた方には大変楽しい見学会となりました。また、職員の作成した手作りの見学記念缶バッジも大変好評で、大変喜んで頂きました。



常用洪水吐き（上流側）見学風景。職員が説明をしました。



ゲート室から常用洪水吐きゲートの裏側の見学風景



参加者の皆さまは、設備の大きさに驚かれていました！



当日はダム堤体内の見学会も実施し、喜んで頂きました！